

平成15年度 定期作況報告

(9月20日現在)

北海道立中央農業試験場

水稻の部

稲作科 (岩見沢市)

気象概況

8月下旬：平均気温は平年より1.8 低かった。降水量は平年の86%、日射時間は平年比84%であった。

9月上旬：平均気温は平年より0.9 低かった。降水量は平年の47%、日射時間は平年比95%であった。

9月中旬：平均気温は平年より0.4 低かった。降水量は平年の62%、日射時間は平年比96%であった。

以上、1ヶ月を通じ気温は平年より1.0 低く、降水量は平年比68%と少なく、日照時間は平年比92%であった。

8月下旬～9月中旬気象表

項目	8月下旬			9月上旬			9月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温()	23.5	25.3	1.8	22.6	23.5	0.9	21.5	21.4	0.0	22.5	23.4	0.9
最低気温()	15.8	17.5	1.7	14.0	14.9	0.9	12.8	13.6	0.8	14.3	15.4	1.1
平均気温()	19.7	21.4	1.7	18.3	19.2	0.9	17.1	17.5	0.4	18.4	19.4	1.0
降水量(mm)	51.5	59.8	8.3	20.5	43.5	23.0	33.0	51.4	18.4	105.0	154.7	49.7
日照時間(hr)	46.6	55.2	8.6	51.9	54.7	2.8	44.3	46.1	1.8	142.8	155.9	13.1

注) データは「アメダス岩見沢」を使用。平年値は平成5年～14年の10か年平均値を農試が算出し、使用。最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値を用いた。

作 況

水稻 作況： 不良

事由：9月20日現在の生育状況は次のとおりであった

稈長：平年よりきらら397は11.3cm、ほしのゆめは9cm短かった。

穂長：平年よりきらら397は1.2cm、ほしのゆめは1.1cm短かった。

穂数：きらら397は平年より30本少なく、ほしのゆめは平年より48本多かった。

籾数：一穂籾数がきらら397は平年より4.7粒、ほしのゆめは11.6粒少ないため、m²当籾数はきらら397は4,400粒、ほしのゆめは5,100粒(ほしのゆめ) 少なかった。

平年に比べて登熟進度も大きく遅れているため現在の作況は 不良 である。

品種名	稈長(cm)			穂長(cm)			穂数(本/m ²)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
きらら397	51.1	62.4	11.3	15.4	16.6	1.2	585	615	30
ほしのゆめ	53.3	62.3	9.0	14.4	15.5	1.1	641	593	48

品種名	一穂籾数(粒)			m ² 当籾数(百粒)			稈実歩合(%)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
きらら397	47.2	51.9	4.7	276	320	44	84.8	82.9	1.9
ほしのゆめ	36.1	47.7	11.6	231	282	51	82.8	92.9	10.1

注1) 平年値は前7か年中、平成9年(最凶)、10年(最豊)を除く5か年平均。

注2) 平成14年より従来の泥炭土圃場から奨励品種決定調査圃場であるグライ土圃場に移動した。

注3) 耕種概要

土 壤 細粒グライ土
 施 肥 高度化成472全層施肥 N?P₂O₅-K₂O=8.0-9.7-6.9 kg/10a 堆肥2,000kg/10a
 播 種 量 :中苗紙筒 = 180cc/箱
 栽 植 密 度 30×13.3cm 25株/m² 4本植え
 移 植 方 法 :手植え
 反 復 :2

畑作の部

畑作科(長沼町)

気象概況

8月下旬：気温は低く推移し、降水量は平年に比べ少なく、日照時間はやや少なかった。

9月上旬：前旬同様気温は低く推移し、降水量はやや少なかった。日照時間は平年並であった。

9月中旬：気温は平年並に推移した。降水量は少なく、日照時間は平年並であった。

以上、1ヶ月を通じて、気温は平年に比べやや低く経過し、降水量は少なく、日照時間は平年並であった。

8月下旬～9月中旬気象表

項目	8月下旬			9月上旬			9月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(℃)	23.8	24.5	0.7	22.5	23.4	0.9	21.6	21.4	0.2	22.6	23.1	0.5
最低気温(℃)	16.0	17.3	1.3	14.3	15.1	0.8	12.7	13.0	0.3	14.3	15.1	0.8
平均気温(℃)	19.4	20.6	1.2	18.0	19.1	1.1	17.1	17.1	0.0	18.2	18.9	0.7
降水量(mm)	21.5	58.4	36.9	26.5	37.8	11.3	28.0	47.8	19.8	76.0	144.0	68.0
降水日数(日)	5.0	4.3	0.7	4.0	4.6	0.6	3.0	3.7	0.7	12.0	12.6	0.6
日照時間(hr)	40.1	45.9	5.8	51.6	52.4	0.8	42.7	44.4	1.7	134.4	142.7	8.3

注1) データは「アメダス長沼」を使用。平年値は平成5年～14年の確定値を10年間平均し、本年値は平成15年の速報値を用いた。

注2) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値を用いた。

作況

1. 秋まき小麦(平成15年播種) 作況：良

事由：播種期は平年に比べ4日早い9月9日であった。播種後は降雨があり、気温がやや高かったことから出芽は早まり、出芽期は9月14～15日であった。

以上により、現在の作況は良である。

品種名	播種期(月.日)			出芽期(月.日)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ホロシニコムギ	9.09	9.13	4	9.14	9.21	7
ホクシン	9.09	9.13	4	9.15	9.22	7

注)平年値は前7か年中、平成9年(最凶)、15年(最豊)を除く5か年平均(各収穫年度)。

2. 大豆 作況：やや不良

事由：8月下旬以降引き続き、やや低温寡照に経過したため、「ユウヅル」では徒長による倒伏の増加と生育の遅れが顕著であり、着莢数は平年を大きく下回っている。一方、「ツルムスメ」では、着莢数は平年をやや上回っている。

以上により、現在の作況はやや不良である。

品種名	主茎長(cm)			主茎節数(節)			分枝数(本/株)			着莢数(莢/株)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ツルムスメ	59.6	55.6	4.0	12.4	12.6	0.2	7.4	5.6	1.8	56.2	50.6	5.6
ユウヅル	90.3	74.0	16.3	16.3	15.1	1.2	3.6	5.1	1.5	45.2	58.9	13.7

注)平年値は前7か年中、平成10年(最豊)、14年(最凶)を除く5か年平均。

3. 小豆 作況：やや良

事由：前期までの生育遅延とその後の低温寡照の影響により、成熟期は大幅に遅れ、9月20日現在成熟期に達していない。しかし、8月中旬以降に伸長した莢が、その後順調に肥大したことから、着莢数は平年を大きく上回っている。

以上により、現在の作況はやや良である。

品種名	成熟期(月日)			主茎長(cm)			主茎節数(節)			分枝数(本/株)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
エリシヨズ	-	9.06	-	53.2	48.9	4.3	12.1	12.0	0.1	5.0	3.5	1.5

品種名	着莢数(莢/株)		
	本年	平年	比較
エリシヨズ	53.8	42.0	11.8

注)平年値は前8か年中、平成12年(最凶)、14年(最豊)および8年(茎疫病多発)を除く5か年平均。

4. てんさい 作況：良

事由：8月下旬から9月上旬はやや低温・少雨と平年並の日照で、9月中旬は平年並の気温と日照で経過したため、今期間の根部肥大はやや緩慢となったが、前期までの順調な生育を引き継ぎ、現在、葉数は平年比123、根周は平年比106と平年を上回る生育を示している。また、褐斑病の発生もほとんど認められない。

以上により、現在の作況は良である。

栽培法	品種名	草丈(cm)			葉数(枚)			根周(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
移植	モノホマレ	62.4	61.9	0.5	37.4	30.5	6.9	35.7	33.7	2.0

注)平年値は前7か年中、平成10年(最豊)、12年(最凶)を除く5か年平均。

5. 中央農試作況報告について

平成13年度より、すべての作物で土壌物理性・排水性が改良された基盤整備後の圃場を使用している。

当報告は、中央農業試験場のほ場において行った生育調査について、調査時点における値を中央農業試験場の平年値と比較したものであり、当該管内の作況を代表するものではありません。